

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
--	---	--

【学校から】○豊かな心をはぐくむ教育の推進について、保護者へは学校便りやPTA総会などの機会ごとに教育方針・目標とともに伝え、生徒には始業式や終業式などの機会でも伝えてきた。その結果、保護者・児童・教職員とも「3」と「4」を合わせた割合が8割を超えている。○友達への思いやりについては評価に関しては、教師だけが「4」の割合が低く、2割を切っている。日々の指導を充実させることにより、教職員の評価の向上につなげていきたい。○心の教育の充実に関して、保護者の評価のうち「4」の割合が教職員並みのレベルになるよう更なる指導体制の充実を図りたい。

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
---	--	---

【学校から】○意欲的に学習に取り組んでいるかという問いについての「4」の割合が生徒の4割超に対して、保護者ならびに教職員の割合が低くなっている。この差について分析し、真に生徒が意欲的に授業へ参加する体制を構築していく。授業づくりの工夫に関して、「3」と「4」を合わせた割合が保護者と教職員に比して、生徒がやや低い。この結果は謙虚に受け止め、一人一人の子どもたちのニーズに合わせた魅力ある授業を創造していく。ICT機器の活用については、当事者の生徒・教職員の評価はほぼ水準であるが、保護者の評価がやや低い。これは活用の現状についての周知不足もあると考えら

③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<p>【学校から】○教職員が「4」をつける割合が低いのは、給食をはじめとする学校での様子を中心とした評価の結果であると考えられる。食事に限らず、運動や睡眠の現状についても、家庭での子どもの様子を把握しながら、連携をさらに密にし</p>
---	---

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実		②特別支援教育の推進
<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>

【学校から】○教職員が子どものよさを見つけ、理解しようとしているかという設問に「4」をつけた割合が教職員に比べ、生徒→保護者の順で低くなっており、設問9のいじめ等の問題への対応、ならびに設問10の学校の支援体制についても同じような傾向が出ている。日々の指導について家庭へこまめに情報提供する体制を今以上に充実させる必要がある。

①子どもたちの身近な安全対策の充実	②最適な学習環境の整備
<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>

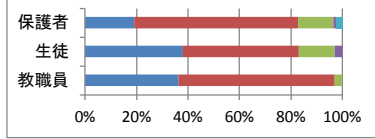
【学校から】○事故防止と安全教育の充実に対しては、生徒からが一番高評価であった。これは日常の学校生活の中で、常に注意喚起がなされていることが大きく影響しているからだと思われる。

【学校から】○保護者、生徒、教職員とも、学習環境の整備について「3」または「4」と評価した割合がほぼ9割を超えている。綿密な点検を通して、安全確保に関して更なる対策をとってい

③家庭・地域社会との連携強化

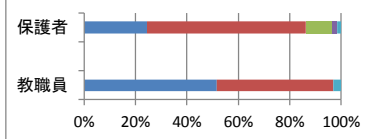
13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

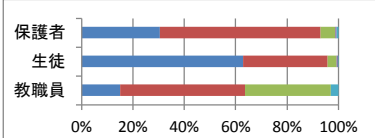


【学校から】○「4」の割合の少なさから、保護者に向けた教育方針や教育目標についての周知がさらに必要であることが分かる。広報の機会を多くとり、生徒や教職員の評価との差を埋めるための方策を徹底していきたい。家庭や地域との連携についての保護者の「4」の割合が、教職員の約半数にとどまっている。保護者から見た「不十分な部分」について分析し、保護者への啓発を行っていき

⑧本校の教育

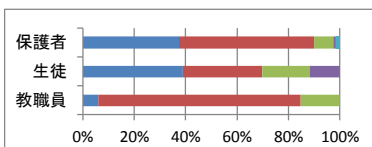
15 主体的な判断と仲間との協力

子どもは、主体的に考え、仲間と協力して行動することができますか。



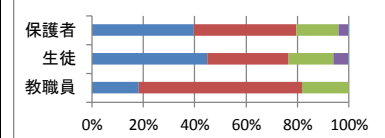
16 自己肯定感

子どもは、自己肯定感が高いですか。



17 体力づくり

子どもは、進んで運動し、体力づくりに取り組んでいますか。



【学校から】○子どもたちは、自分たちが主体的に考えることができていると評価しているが、それに比べ、保護者や教職員は「4」の比率が低くなっており、特に教職員は「3」と「4」を合わせた数が6割程度にとどまっている。日々の学習活動や特別活動の中に生徒の主体性を育むための工夫を取り入れていく。○生徒の自己肯定感の向上に関しては、学校生活の中で個々の生徒の活動を評価する際の声かけの仕方を工夫していくなど、指導方法の見直しや強化を図っていく。○体力づくりに関して、教職員に比べ、保護者や生徒のほうが肯定的にとらえている傾向がある。今後も進んで生徒が体力づくりに取り組めるよう指導方法を工夫していく。

来年度の具体的な取り組みについて

- 毎時間の授業の充実のための教材開発を工夫し、学力充実の取り組みを進めていく。
- 特別活動等で、基本的な生活習慣の確立などを旨とする活動を多く取り入れていく。
- 学校の教育方針や教育目標については、これまで以上に、各種通信やPTA新聞などの刊行物、あるいは各種会合等で折にふれ情報発信を行う。
- PTAや地域の諸団体と連携しながら、挨拶や好ましいマナーなどの習得を旨とした指導を展開していく。
- 保護者や地域の人材の協力を得ながら、地域に根ざした安全教育、食育、総合学習等を充実させる。特に、食育については、これまで同様、生産者とタイアップしながら、地産地消の観点からの交流活動を継続していく。
- 各種感染症に対応するために、手洗い・うがいなどの習慣の確立を図る。また、心身共に健康な生活を送れるように、より一層の工夫に努める。
- 熊本市学力検査を受け、生徒の実態に合わせた教材を利用することにより、きめ細かな指導の工夫改善に努める。
- 年間指導計画の充実を図り、子どもたちの体力向上に向けて更に取り組む。全国の平均を上回る種目が1つでも増えるよう、総合的な運動能力アップのための工夫を図っていく。

学校関係者評価

- 授業の様子を見ると、子どもたちが充実した学習活動に取り組んでいることが分かる。
- どの教科でも、教材の提示方法が工夫されていたり、教材教具が興味関心を引きつけるものであったりするので、子どもたちの目がとても輝いていた。これら先生方の工夫のおかげで、子どもたちの力がさらに伸びていくと思う。
- 道徳等の取り組みの成果が、今の力合中学校の子どもたちにつながっていると思う。
- 子どもたちは、比較的あいさつしてくれるが、もう少し元気があってもいいと思う。あいさつは社会生活の基本なので、これからもあいさつ運動等でその力をつけてほしい。
- 家庭環境に課題を抱えている生徒に対しても、生徒指導上の配慮がなされていることが分かった。ぜひ、子どもたち全員が幸せに育ってほしいと願っている。そのために、地域も協力していきたいと思っている。
- 体力向上のための取り組みはしっかり行われていると思う。これらが今後の子どもたちの実際の体力向上につながっていくことを願う。
- 防犯活動・交通安全活動については、これまで同様、地域と一体になり進めていければと思う。
- アンケート結果から、家庭・地域との連携や、情報共有にさらなる工夫が必要であると感じた。学校を発信源として、これまで以上に連携協力をしてほしい。